

平成29年 8月17日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL、2017年第2四半期業績に関する解説

当社の重要な子会社でありますSET（タイ証券取引所）上場のDigital Finance会社 Group Lease PCL（以下GL）は、同社がSETに開示した2017年第2四半期の財務諸表につきまして業績の解説プレスリリースを公表いたしましたので、その内容を日本語にてご紹介いたします。

（以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳）

2017年 8月 15日

Group Lease Public Company Limited（以下、GL）の2017年度第2四半期（2017年6月30日）の連結及び単体の業績について以下にその概要を説明します。

連結財務諸表

GLが発表した2017年度第2四半期の業績において、連結純利益は前年同期（2016年第2四半期）比で81.00百万タイバーツ増、31.66%増の336.85百万タイバーツを計上し、四半期最高益を更新しました。純利益増加の主な要因としては、割賦及びリース販売利息収入の増加、資産担保金融利息収入の増加、貸付利息の増加、その他収入の増加があげられます。

1. ハイパーパーチェス利息収入は、前年同期比33.61百万タイバーツ増、6.83%増の525.89百万タイバーツを計上しました。これは海外における貸付額増加に伴い、カンボジアとラオスの子会社からの利息収入が増加したことが主な要因であり、その内訳は、カンボジア14.86百万タイバーツ、ラオス13.18百万タイバーツです。更にGL及びタイの子会社においても割賦及びリース販売利息収入が増加しており、GL2.45百万タイバーツ増、タイ子会社3.10百万タイバーツ増となりました。これらは、GLのビジネスモデル「Digital Finance」を通じてタイ及び海外市場でポートフォリオ拡大を目指す企業戦略に合致した結果です。
2. 資産担保金融利息収入は、前年同期比12.41百万タイバーツ増、46.02%増の39.37百万タイバーツを計上しました。この増加のうち、12.02百万タイバーツはタイ子会

社によるものであり、事業拡大の成長を表している。残りの0.39百万タイバーツは、2017年第2四半期に新商材として開始したカンボジア子会社によるものです。

3. マイクロファイナンス利息収入は、6.22百万タイバーツでした。マイクロファイナンスは、ミャンマーで新たに開始した商品です。女性5人組のグループに対して期間平均50週で貸出し、週次に返済され、グループ内メンバーそれぞれがその返済の責任を負う形の商品です。この新商品は、NPLレシオ（貸倒率）0%を記録しており、非常に成功を収めております。2017年第2四半期ミャンマー子会社は、マイクロファイナンス利息収入として、6.22百万タイバーツを計上しました。
4. ジョイントベンチャーによるコンシューマーファイナンス利息収入は、12.18百万タイバーツでした。このコンシューマーファイナンスは、インドネシア子会社が、現地の銀行と協業してインドネシアで開始し、農機具購入者にローンを提供する新しい形のファイナンス商品です。インドネシア子会社は、現地銀行の取り分を差し引いた利息収入を同社の取り分として計上します。
5. ローン貸付利息は、前年同期比10.27百万タイバーツ増、8.88%増の125.99百万タイバーツを計上しました。これは、法人へのローンに関連した収入です。GL子会社は、それぞれの展開国において、売上拡大を望む販売業者（サプライヤ）に対して、事業拡大支援サービスやファイナンスサポートの提供を行っています。
6. その他収入は、前年同期比107.40百万タイバーツ増、155.06%増の176.67百万タイバーツを計上した。その増加の主な内訳は、為替差益104.40百万タイバーツ増、割賦及びリース販売関連その他収入48.93百万タイバーツ増、その他利息収入8.88百万タイバーツ増、コンサルサービス収入6.8百万タイバーツ増、マイクロファイナンス関連その他収入0.68百万タイバーツ増です。
7. サービス費及び管理費合計は、前年同期比54.58百万タイバーツ増、25.12%増の271.89百万タイバーツを計上しました。この主な要因は、海外事業拡大による費用増です。但し、サービス費及び管理費の増加は収入の伸びに比べ緩やかであり、効率的なコストマネジメントの結果が表れています。
8. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期比7.88百万タイバーツ増、9.51%増となりました。しかし、総収入の増加率と比べこの数値は低く、ポートフォリオの質の改善を表しています。ポートフォリオの質の改善の主な要因は、海外で開始した新商品において低NPL（貸倒率）が続いていること、タイの創業事業においてクレジット承認により厳しい基準を設定した他、返済フォローアップ体制を強化したことがあげられます。
9. 担保権行使資産処分による損失は、前年同期比1.24百万タイバーツ減、2.37%減で52.37百万タイバーツから51.13百万タイバーツに減少しました。要因としては、中古オートバイの市場価値の高騰及び担保権行使資産売却損のリスク管理をより効率的に実行したことがあげられます。
10. 2016年10月に株式の29.99%を取得したスリランカの関係企業からの持分法による投資利益は、2016年第4四半期と比べて11.62百万タイバーツ減、24.04%減の36.73百万タイバーツとなりました。要因は、スリランカにおいて4月に2週間の祝日が続き、その期間、顧客のローン利息が免除されたことがあげられます。

11. ファイナンス費用は、前年同期 45.65 百万タイバーツに比べて 81.27 百万タイバーツ増、178.02%増の 126.93 百万タイバーツでした。主な要因としては、2016 年第 3 四半期に発行した転換社債 130 百万米ドル及び 2017 年第 1 四半期に発行した転換社債 70 百万米ドルに対する利息費用合計 86.32 百万タイバーツを計上した結果です。但し、平均資金調達コストは、5.58%から 5.20%に減少しています。

個別財務諸表

2017 年度第 2 四半期の純利益は、前年同期 126.60 百万タイバーツから 489.23 百万タイバーツ（362.63 百万タイバーツ増、286.45%増）に増加しました。その主な要因は以下になります。

1. 割賦及びリース販売利息収入は、前年同期比 2.45 百万タイバーツ増、0.82%増 300.43 百万タイバーツでした。2017 年第 2 四半期末の割賦及びリース販売貸付残高は、前年同期比で 91.83 百万タイバーツ、2.28%増加しました。これは、会社の戦略としてタイにおけるポートフォリオ拡大を重視した結果です。
2. その他収入は、前年同期 140.09 百万タイバーツから 577.70 百万タイバーツ（437.61 百万タイバーツ増、312.39%増）に増加しました。その他収入の主な内訳は、シンガポールの 100%子会社からの配当収入 343.77 百万タイバーツ（9.99 百万米ドル）、海外子会社への貸付利息収入計 113.31 百万タイバーツ、為替差益 64.88 百万タイバーツ、割賦及びリース販売関連収入計 30.89 百万タイバーツ、経営サービス収入計 21.00 百万タイバーツです。
3. サービス費及び管理費合計は、前年同期 122.08 百万タイバーツから 138.65 百万タイバーツ（16.56 百万タイバーツ増、13.57%増）に増加しました。この主な要因は、グループの事業拡大に伴う人件費及び専門家への報酬が増加したことがあげられます。
4. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期比 9.93 百万タイバーツ減、15.47%減の 54.27 百万タイバーツでした。主な要因としては、ポートフォリオの質の改善と回収プロセスの強化があげられます。
5. 資産処分による損失は、前年同期比 3.34 百万タイバーツ減、6.55%減の 47.72 百万タイバーツでした。主な要因としては、中古オートバイの市場価値の高騰及び担保権行使資産売却損のリスク管理をより効率的に実行したことがあげられます。
6. ファイナンス費用は、前年同期比 77.13 百万タイバーツ増、182.53%増の 119.38 百万タイバーツでした。主な要因としては、2016 年第 3 四半期に発行した転換社債 130 百万米ドル及び 2017 年第 1 四半期に発行した転換社債 70 百万米ドルに対する利息費用合計 86.32 百万タイバーツを計上した結果です。但し、平均資金調達コストは、5.40%から 4.99%に減少しています。

以 上